



特記号なし

実用新案登録願(フ)

昭和 48 年 12 月 28 日

(1,500円)

特許庁長官 斎藤英雄殿



1. 考案の名称

ヘンソクデンドウソウチ  
変速伝動装置

2. 考案者

居所

オカヤマ シ エ ナミ  
岡山市江並428番地

フジイ セイサク ショナイ  
株式会社藤井製作所内

氏名

テラ モト ショウ シニ  
寺元省二

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 702

住所 岡山市江並428番地

電話 岡山 代表77-7111番

名称 (516) 株式会社藤井製作所

代表者 松原貴  
神田品



4. 添附書類の目録

(1) 明細書	1 通
(2) 図面	1 通
(3) 副本	1 通

方式  
全

49 033141

589

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

#### 変速伝動装置

### 2. 実用新案登録請求の範囲

伝動軸(1)にスプライン係合したギヤ体(A)と、伝動軸(1)と平行の軸(2)に移動可能に架設したギヤ体(B)とを嚙合自在にして、両ギヤ体(A)(B)に伝動ギヤ(C)を選択的に嚙合自在にし、両ギヤ体(A)(B)にまたがる1本のフォーク(D)の可動操作により両ギヤ体(A)(B)が必ず反対方向に移動しながらその一方が伝動ギヤ(C)に嚙合して正逆回転伝動をなすようにしてなる変速伝動装置。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は、変速伝動装置に関し、とくに、伝動軸から伝動ギヤに対して正逆回転伝動をなす場合に、1本のフォークを可動するだけで2個のギヤ体を必ず反対方向に操作して変速もつれを生じさせることなく確実に伝動を行なうことができ、その構造も簡単にして円滑に操作できるよう工夫したものである。

次に、図面に示す実施例について説明する。

ミッションケース(M)内に軸架した伝動軸(1)をケース外に突出して入力軸としてその端部に入力プーリー(3)を固定し、伝動軸(1)にスプライン係合(4)したギヤ体(A)は中間溝(5)を有して両側に同径のギヤ(6)(6')を形設し、伝動軸(1)に平行に軸架した軸(2)には中間溝(7)を有して両側に同径のギヤ(8)(8')を形成したギヤ体(B)を移動自在に架設し、ギヤ(6)(6')とギヤ(8)(8')を嚙合自在にするとともに、ギヤ(6)および(8)には伝動ギヤ(9)を嚙合自在に設ける。


また、ミッションケース(M)に回転自在に架設したフォーク(D)の回転軸部(d)を作動アーム(9)により回動操作自在に設け、その回転軸部(d)を両ギヤ体(A)(B)の中間位置にして、2又の作動体(10)(10')を回転軸部(d)から反対方向に延出形成し、作動体(10)をギヤ体(A)の中間溝(5)内に、作動体(10')をギヤ体(B)の中間溝(7)内にそれぞれ嵌合する。

しかして、伝動軸(1)の回転を伝動ギヤ(9)に対して正転伝動させる場合には、作動アーム(9)の操作によりフォーク(D)を回転軸部(d)中心に回動させる

と、両作動体 10 10' が反対方向に可動して、第 3 図に示すようにギヤ体 (A) は作動体 10 により一方に移動されてギヤ (6) と伝動ギヤ (c) が噛合し、一方、作動体 10' により他方に移動されるギヤ体 (B) のギヤ (8) はギヤ体 (A) のギヤ (6) に噛合するだけの状態となり、伝動軸 (1) の回転力はギヤ体 (A) を介して伝動ギヤ (c) に伝達され、ギヤ体 (B) は空転状態となり、例えば農用車等の前進変速ができる。

また、伝動軸 (1) の変らぬ回転を伝動ギヤ (c) に対して逆転伝動させる場合には、作動アーム (9) の逆操作によりフォーク (D) を回転軸部 (a) 中心に逆回転させると、両作動体 10 10' が反対方向に可動して、第 4 図に示すようにギヤ体 (B) は作動体 10' により一方に移動されてギヤ (8) と伝動ギヤ (c) が噛合し、一方、作動体 10 により他方に移動されるギヤ体 (A) のギヤ (6) はギヤ体 (B) のギヤ (8) に噛合して、伝動軸 (1) の回転力はギヤ体 (A) からギヤ体 (B) に、さらにギヤ体 (B) から伝動ギヤ (c) に伝動されて、伝動ギヤ (c) は逆転され、例えば農用車等の後進変速ができる。

このように本考案は、伝動軸 (1) にスプライン係



合したギヤ体(A)と、伝動軸(1)と平行の軸(2)に移動可能に架設したギヤ体(B)とを嚙合自在にして、両ギヤ体(A)(B)に伝動ギヤ(C)を選択的に嚙合自在にし、両ギヤ体(A)(B)にまたがる1本のフォーク(D)の可動操作により両ギヤ体(A)(B)が必ず反対方向に移動しながらその一方が伝動ギヤ(C)に嚙合して正逆回転伝動をなすようにしたから、1本のフォーク(D)の操作により両ギヤ体(A)(B)を反対方向に移動させて伝動軸(1)から伝動ギヤ(C)に対して一方のみを係合させながら正逆転伝動をさせることができ、その場合に、両ギヤ体(A)(B)の反対方向の移動により必ず一方のみを伝動ギヤ(C)に確実に嚙合させるので変速もつれを生じることなく円滑正確に変速伝動させることができ、しかも、1本のフォーク(D)により操作できるギヤ体(A)(B)の組合せにより全体を簡単な構造にして提供できる。

#### 4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示し、第1図は要部の断面図、第2図はその側断面図、第3図および第4図は第1図の作動説明図である。

(1) ... 伝動軸 (A)(B) ... ギヤ体 (2) ... 軸 (C) ... 伝動  
ギヤ (D) ... フォーク (M) ... ミッションケース (3)  
... 入力プーリー (4) ... スプライン係合 (5)(7) ... 中  
間溝 (6)(6')(8)(8') ... ギヤ (a) ... 回転軸部 (9) ... 作動  
アーム (10)(10') ... 作動体。

実用新案登録出願人

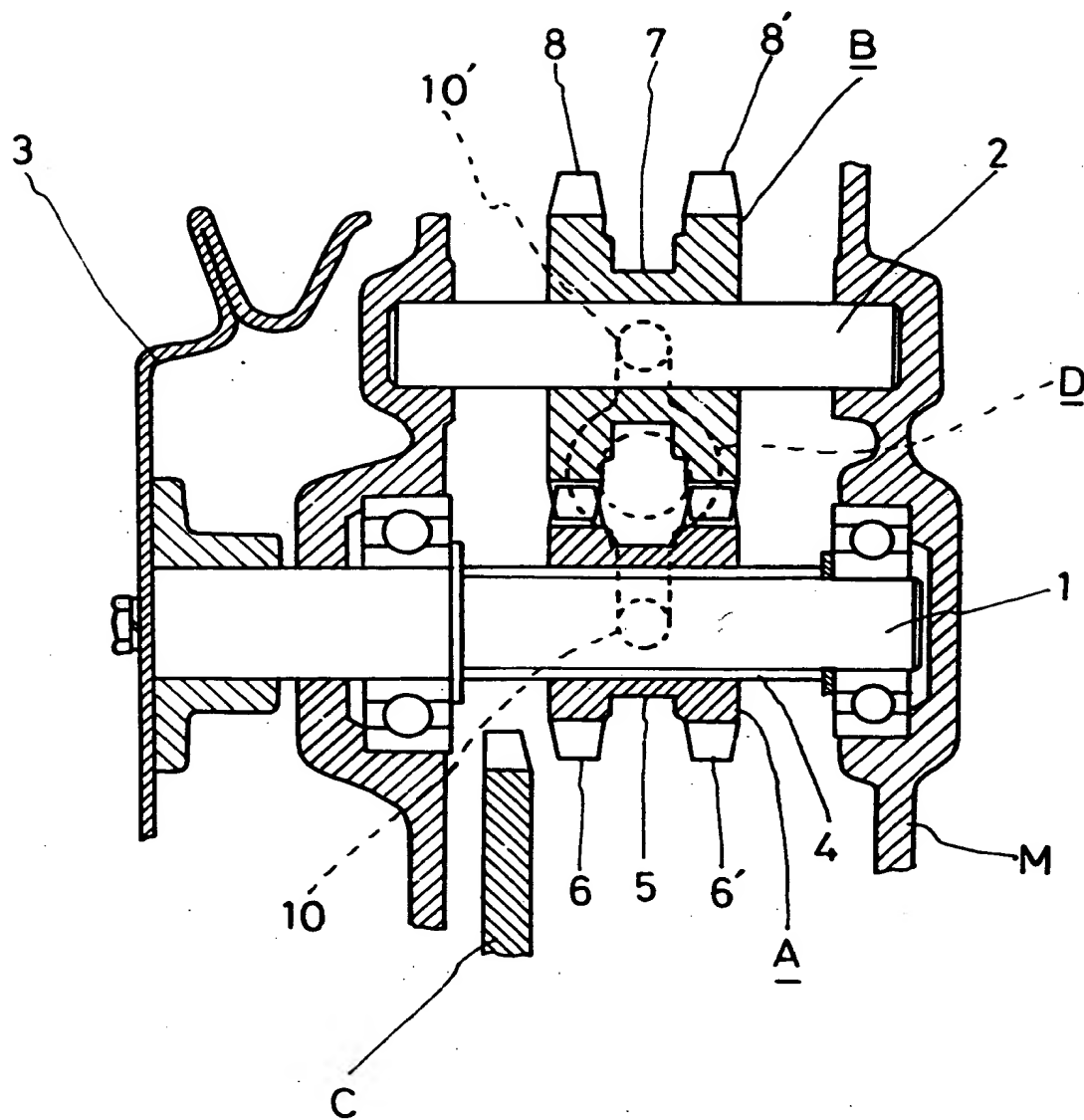
岡山市江並 4 2 8 番地

株式会社藤井製作所

代表者 神 田 品



第 1 図



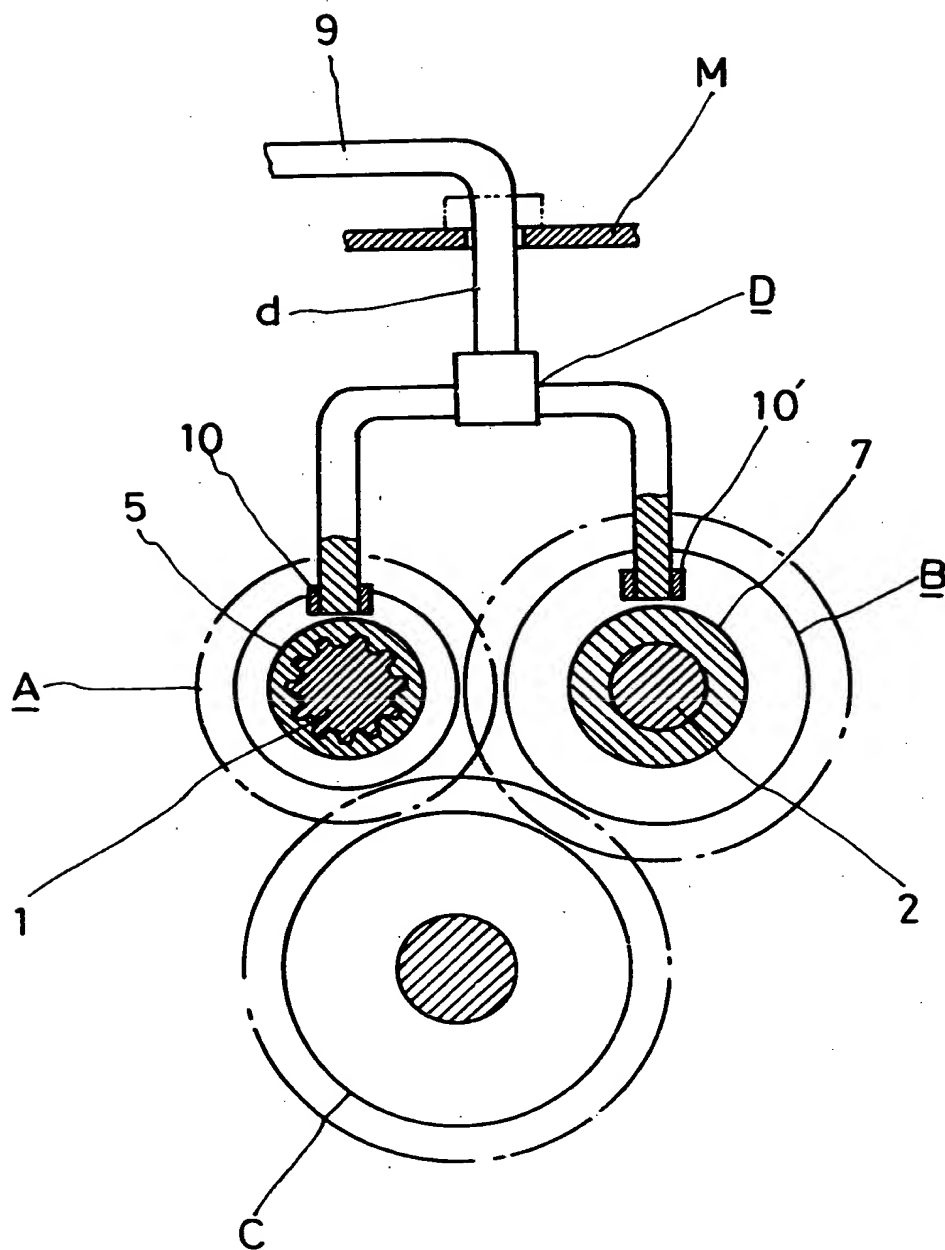
実用新案登録出願人

岡山市江並428番地

株式会社藤井製作所

代表者 神田 品一

第 2 図



實用新案登録出願人

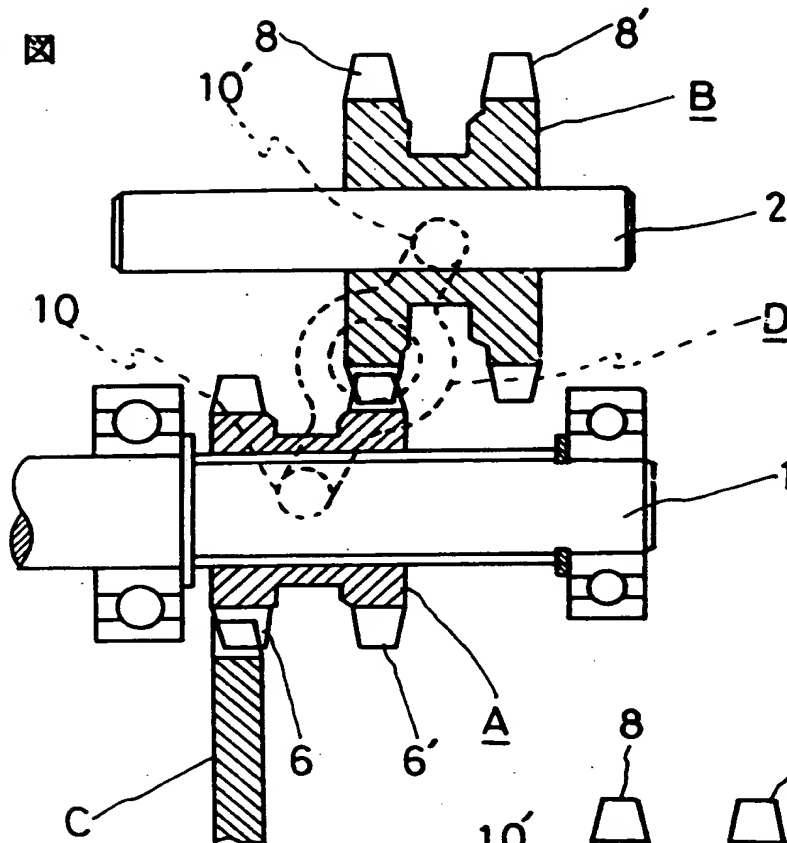
岡山市江並428番地

株式会社 藤井製作所

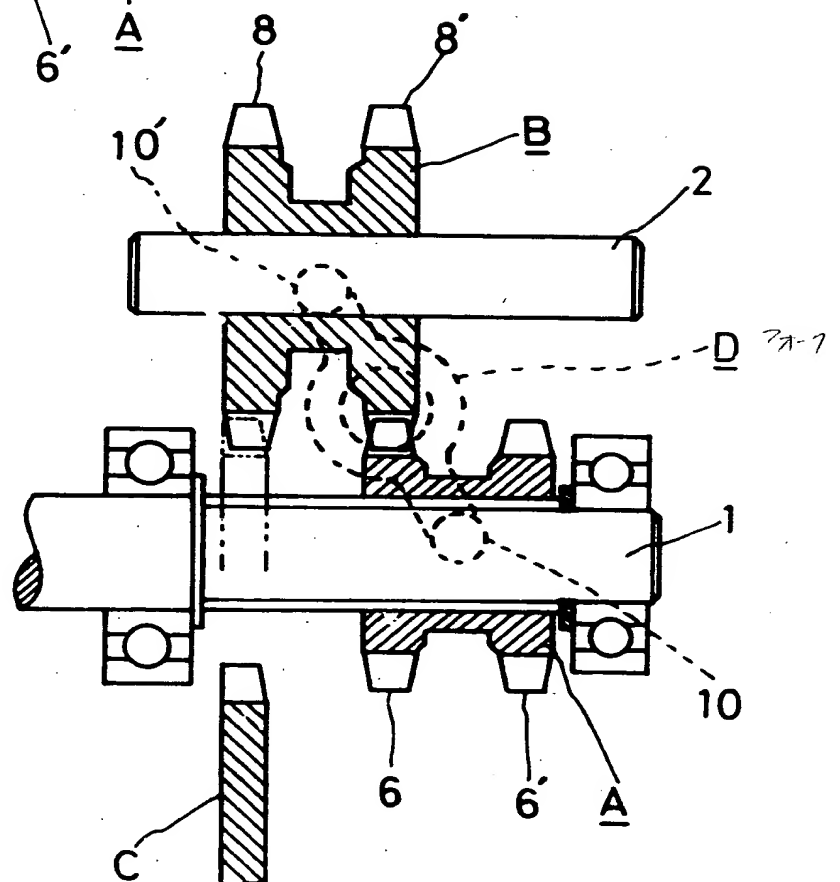
代表者 藤田 品一



第 3 図



第 4 図



107

実用新案登録出願

岡山市江並428番地  
株式会社 藤井製作所  
代表者 藤田 品一

# 名称変更届

昭和50年1月29日

特許庁長官 斎藤英雄 殿

## 1. 事件の表示

昭和49年実用新案登録願第 314/ 号

2. 考案の名称  
インテンドウソウケ  
変速伝動装置

## 3. 名称を変更した者

事件との関係 実用新案登録出願人

住所 岡山市江並428番地

旧名称 (516) 株式会社藤井製作所

新名称 (516) セイレイ工業株式会社

代表者 神田品一



## 4. 添附書類の目録

名称の変更を証明する書面（登記簿謄本）1通、尚上記書面は  
同時差出しの名称変更届（昭和49年実用新案登録願第206号）

に添付したものを援用する。

登記簿謄本(字)

1通

50.2